

# マゴソ通信



マゴソスクールを初めて訪問したのは、2006年の夏でした。当時勤めていた学校で、初めて早川さんの講演をしたときに、ある生徒が「マゴソに行きたい。」と言ったことがきっかけでした。私は4人の高1の生徒と一緒に早川さんのスタディツアーに参加し、マゴソスクールを訪問しました。当時のマゴソスクールは、今の半分もない小さな学校で、猫の額ほどの校庭に滑り台が一台。教室は土間で、黒板は壁を黒く塗っただけ。机も椅子も十分にはありませんでした。校舎の軒先に座り、小さな校庭で子供たちの元気なダンスや歌、マシモニュースグループの美しい歌声を聞いたことは忘れることができない思い出です。(左下写真)

その後も、折に触れマゴソスクールを訪問していますが、改築された今のマゴソスクールは、私が知っているマゴソスクールと比べるとびっくりするくらい設備が整っていて驚くばかりです。ここに至るまで、暴動、火事、安全基準を満たさなければ閉校と幾度となく存続の危機があり、そのたび、早川さんの呼びかけに応える形で、たくさんの支援が届きました。今回のコロナ禍への対応のための教室整備、強制撤去による校舎の改築、早川さんは資金のことを心配したそうですが、次から次へと支援が続き、早川さんも、支える会も驚きと感謝でいっぱいでした。

マゴソスクールはなぜこんなに皆様の支援を得ることができるのか。それはマゴソスクールの持つエネルギーやパワーが皆様を勇気づけるからなのではないでしょうか。そのパワーやエネルギーは、マゴソスクールの教育の素晴らしさからくると常々思っています。マゴソの教育の柱は給食、音楽・絵画、そして、重要なのが彼らに関わる大人。早川さん、リアンさん、ダン校長、オギラ教頭をはじめとして、大人が真剣に子供に向き合い、子供を見捨てていない。Facebookの動画を見るようになって一層その思いを強くしています。

これからも、幾度となく大変なことが起きるだろうと思います。また、早川さんの次の世代への引継ぎも始まりましたが、彼らに対する支援も今後重要になってきます。マゴソOBOGが自立して、自分たちの手でマゴソスクールを運営していける日を楽しみにしながら、会報作り、領収書兼お礼状の発送を丁寧にさせていただこうと思っております。不行き届きな点もあるかと思いますが、これからもよろしくお願いいたします。

コロナの収束はまだまだ先になりそうです。お一人お一人の状況は異なると思いますが、落ち着いた日々になりますようお祈りしております。

マゴソスクールを支える会 会報等担当者

## 会費・寄付振込先

【郵便局】マゴソスクールを支える会

口座番号: 00810-9-216335

(記号: 00810 番号: 216335)

【ゆうちょ銀行】マゴソスクールを支える会

0八九(ゼロハチキュウ)店

当座 0216335

## 会費納入に関して

◆郵便貯金口座をお持ちの方は「郵便局自動送金サービス」ご利用いただけます。月額のお会費のみご利用頂けます。郵便局にてご自身で手続きをお願い致します。

<送金先口座情報>

加入者名: マゴソスクールを支える会 口座番号: 12230-33000581

◆クレジットカード

※ご利用可能なクレジットカードは、VISA、MasterCardで、「日本円」でのご請求となります。HPよりお申込みいただけます。各コースをクリックし、登録ページ(テレコムクレジット株式会社)へお進みください。お問い合わせのないようお願いいたします。

納入方法を変更された場合は、事務局までお知らせください。

## マゴソスクールを支える会事務局

〒511-0044 三重県桑名市大字萱町54-1

Mail: info@magoso.jp

HP: <http://magoso.jp/>

Facebook:

<https://www.facebook.com/magososupportersclub/>



2006 スタディツアー

マゴソにソーラーパワー

# マゴソスクールの新しい時代が始まりました！

## ～マゴソユースセンターの設立～

今回は、早川千晶さんがマゴソ通信に寄稿してくださいました。

1999年、キベラスラムのボロボロの長屋の一室に20人の孤児が集まり、マゴソスクールは始まりました。その頃はまだマゴソスクールという名前すらなく、自分自身もスラムの孤児だったリリアンが、自分の暮らしの周辺に溢れている困窮した孤児たちに生きる希望を与えたいと願って、共に暮らし始めたことから始まりました。

あれから22年経ち、2021年、マゴソスクールには新しい時代が始まりました。かつて小さかった子供たちが、様々な苦労や心の痛みを乗り越えて共に成長していき、高校生、大学生になり、大きな力を発揮し始めたのです。

2007年に初めての高校受験生がマゴソスクールから出て、8人の子供たちがマゴソOBOGクラブの一期生となりました。それから毎年、高校に進学する生徒たちの数は増えていき、2021年度の新規高校入学生徒は十四期生となりました。大学生の数も増えました。

その先駆者の生徒たちが結成したグループが、マゴソOBOGクラブ・パイオニアと名付けられました。彼らはスラムの若者たちのリーダーとして、先頭を切って意見を交わし、新しいプロジェクトを作り出しています。

マゴソOBOGクラブの生徒たちは、高校に進学したときから、学校が休みの時にはマゴソスクールに帰ってきて、常日頃からマゴソスクールの様々な手伝いをしています。特に休暇中にも続けている給食では、マゴソOBOGクラブの高校生が中心になって水汲み、料理、配膳、子供たちの指導、掃除などを行っています。そんな高校生たちが大学に入学してからは、さらに深い関わり方をしていくようになります。授業を受け持ち、子供たちを教え、様々な課外活動にも参加し、マゴソスクールの運営ミーティングにも参加していきます。そんな中で、自分もかつてはそうだったようなキベラスラムの困窮児童の力になりたい、このスラムの貧困状況を根底から変えていく力になりたいという意識がしっかりと芽生えていきます。

このマゴソOBOGクラブ・パイオニアのメンバーたちは、常日頃からマゴソスクールの運営に関わり、話し合いも活発に行っています。そんな中で、彼らの中から生まれてきたのが今年新しく立ち上げた「マゴソユースセンター」です。

「ユース＝若者世代」の年齢層を2010年の新ケニア憲法では18歳～34歳と定義しています。国連の定義する「15歳～24歳」とは大きく異なります。ケニアの全人口での比率としては、18歳～34歳のユース世代は29%、それ以下の子どもたちも入れると合計70%が子供と若者だそうです。60歳以上の高齢者は6%しかいません。(2020年発表の資料から。)

このように、若者の人数が多く、失業率も高い国であるため、社会の最も大きな課題はこの若者たちの雇用をいかに拡大できるか、若者たちの教育レベルを上げ、その力を社会にどのように生かすかということであり、若者たち自身もその点での意識は非常に高いです。



ハランペーで立った最初の校舎



OBOG一期生



最強チーム。Magoso OBOG club Pioneers !

ダン校長、オギラ教頭、  
大学卒業後マゴソスクールで働いてくれている  
ワマルアとオティソ、  
現役大学生でマゴソスクールで教えている  
ジョンソン、ジョン、コスマス。  
マゴソOBOGクラブの高校生たちのメンター



ユースセンターの許可証

マゴソ OBOG クラブのメンバーとは、ミーティングの度にそのような議論を行ってきましたが、ついには彼ら自身の中から自発的な動きとして、「若者たちのエンパワメントとメンターシップを行うためのセンターを作ろう」との声が高まり、「マゴソユースセンター」の発足に至りました。

マゴソユースセンターは、マゴソスクール内に新しい一室を構え、そこに会議室と、コンピューター学校を新設しました。マゴソスクール卒業生のみならず、地域の若者たちもそこで学びが受けられるようになりました。(6名のフルタイムの生徒(朝8時から午後4時)と、人数無制限の夜間クラスの生徒。3週間でウェブサイトが作れるようになり、半年でプログラマーになることを目指す。)

また、新たな取り組みとしては、マゴソ OBOG クラブの新規支援生徒(高校進学生徒)の家庭事情の調査や、家庭訪問、保護者へのインタビュー、支援生徒の選抜、入学手続きなども、一手にマゴソ OBOG クラブ・パイオニアが手掛けることとなりました。

今年度のジュンバ・ラ・ワトト(子供の家)へ移住する新規生徒たちの選抜も、彼らが中心になって行いました。困窮児童の選定と、その家庭状況の調査を、マゴソ OBOG クラブ・パイオニアのメンバーたちが手分けして行い、その資料を作成して、話し合いを続け、最終的な決定までをすべて彼らが中心になって行いました。

また、現在私たちが話し合いながら取り組みを開始しているのは、マゴソスクールやジュンバ・ラ・ワトト、マゴソ OBOG クラブに関して、その広報活動をマゴソ OBOG クラブ・パイオニアが中心になって行うことです。ホームページの作成や、インスタ、ツイッターなどの SNS を活用して、世界に向けて発信していく土台を作ろうとしています。(★Magoso OBOG TV on YouTube ♡が開設されました。キベラスラムで育ったマゴソスクール卒業生たちが自分で立ち上げたもので、初試みなのでまだまだ未熟ですが、今後彼らの中から生まれてくるものがとても楽しみです♡是非チャンネル登録をお願いします♡)

私は、22年前に20人の子供たちの寺子屋としてマゴソスクールが始まったときには、その22年後にこのような未来が待っているとは想像もしていませんでした。私は、食べるものがなくひもじい思いをしている子供たちに給食を、家族を亡くし絶望している子供たちに愛情と衣食住の保護を、そして子供たちが自らの未来を切り開いていく希望を得るために教育を、と願い、ひたすら走り続けてきました。

マゴソスクールで育った子供たちが、いま、若者世代になり、私が想像もしていなかった力を発揮し始めています。私は、教育とは「光」なのだということを今つくづく実感しています。教育の機会を得ることで、目の前に新しい道が広がり、未来を照らす光を得ることが出来ます。

2021年、私は、マゴソスクールの新しい時代が始まったということ、ひしひしと感じています。この先駆者の彼らが、今後どのような力を発揮し、それをどのように広げていってくれるか、とても楽しみな予感があり、確かな手ごたえを感じています。これは、長年の間、皆様がマゴソスクールに寄り添い、叱咤激励し、サポートしてきてくださったおかげだと、心から感謝しています。私が20代の頃から関わりを持ち始めたキベラスラム。今年私は55歳になり、この先の20年で私は何が出来るだろうと思いを巡らせ、気合を入れ直しています。若者世代にしっかりとバトンを手渡し、彼らがさらに大きく、さらに力強い歩みを進めていってくれるという手ごたえがあります。その彼らを今後根底から支えていくのは、私たちが自分の人生をかけて彼らに示す精神性や、信念、倫理観だと思います。今後も精一杯取り組んでいきたいと思っておりますので、今後ともどうかよろしくお願い申し上げます。



コンピュータールーム



ユースセンターの会議室



7月25日に行われたファッションショー。マゴソの子どもたちや卒業生、保護者の皆さんとご近所さんたち、スタッフとその家族など、キベラスラムのコミュニティで一体となって楽しみました♡  
ご馳走はたくさんあったけど、壮観だったのはヤギ5頭、60kgのお肉♡🐐



# マゴソニュース

## 1. マゴソスクールからジュンバ・ラ・ワトトに新規移住生徒たち、出発♡

モンバサ近郊の村で私たちが運営する子どもの家「ジュンバラワトト」に新規の子供たち8名が出発しました！！モンバサまで500kmの大旅行です。マゴソ OBOG パイオニアのオティソ先生、ワマルア、ジョンソンが引率しています。

新規の生徒たちは、それぞれ両親がいなかったり、シングルマザーであったり、様々な事情でキベラスラムを離れて、移住します。子供たちにとっても家族にとっても大きな決断ですが、これが生活を助け、子供たちの教育のチャンスになると思って決断してくれました。キベラスラムから移住した子供たちはみんな、村の子供たちと兄弟姉妹になり、助け合いながら暮らします。



## 2. マゴソスクールオフィシャルショップが9/10(金)にラビントンでオープン♡

Magoso African Designs が新しくナイロビのラビントンに店舗をオープンすることになりました♡ マゴソファミリー一同、張り切っています。マゴソグッズは早川さんとリリアンの2人で1999年に作り始めました。「この22年間、ずっと作品を作り続けて売り続けてきました。作る喜びが私たちの背中を押し続けてくれた。これからも沢山の子どもたちを救済しつつ、愛と夢と希望を広げて、ステキな手作り作品をたくさん作り続けていきます。楽しみにしてください♡」と早川さん。

日本では右記のお店で取り扱っています。オンラインショップもあります。

- ◇ 東京薬局 (マスクのみの取扱) 東京都千代田区 03-3291-0081
- ◇ MY CHOICE MY LIFE 東京都目黒区 03-6459-5507
- ◇ 案山棒 静岡県焼津市 054-627-7222
- ◇ くるむすび ~アフリカ雑貨、スワロフスキーのお店~ 静岡県浜松市 090-6080-3602
- ◇ 旅と手仕事の雑貨店 ルティカ 愛知県豊橋市 rutica@tees.jp
- ◇ はろの屋 三重県桑名市 [info@haronoya.com](mailto:info@haronoya.com) オンラインショップ有
- ◇ Naiz Rafiki 福岡県北九州市 hihope\_tanzania@yahoo.co.jp
- ◇ 工房アムム 沖縄県南城市 [amamu-seasar@hotmail.co.jp](mailto:amamu-seasar@hotmail.co.jp) オンラインショップ有

日本では右記のお店で取り扱っています。オンラインショップもあります。

## 3. Magoso OBOG Club Generation14 / Form1 2021 ☆

入学前の集合写真



8月から新高校一年生になったマゴソ OBOG クラブのメンバー。高校の入学準備は、制服、寮生活に必要なものの準備が大変。それに寄り添う保護者、マゴソの先生たち、OBOGたちの愛情と熱意が素晴らしい。そうやって無事入学できた彼らが、ミッドターム中間休みになって3日間だけキベラスラムに帰ってきました。小学生の時とは全然違う自信に満ちた頼もしい表情。みんな小さい時から様々な苦勞をしてきた仲間たち。高校生活を思いきりエンジョイしてね。青春時代は人生の宝物だね。

### 支える会からのお知らせとお願い

- ♡ 2021年9月現在のサポーター数は495名です。
- ♡ ご友人等にご紹介のため、パンフレット・会報等をご入用の場合は事務局までご連絡ください。
- ♡ 会報は、会員の方、名刺を頂戴した方、寄付を頂いた方、様々な形でご支援して下さる方、皆様に送らせていただいております。会報が重複して届いていたり、不要な場合は、事務局までお知らせいただければありがたいと思います。
- ♡ 振込用紙は発送作業の都合上、全員に入れさせていただいております。ご了承ください。
- ♡ 会費の領収書は発行していませんが、必要な場合は事務局までお知らせください。専従スタッフがおりませんため、ご寄付のお礼(領収書)の発送が遅れますことお詫び申し上げます。
- ♡ マゴソスクールへの支援物資は、支える会では受け付けておりません。
- ♡ 皆様からの会費やご寄付はすべてマゴソスクールに送り、会報の印刷・郵送には使っておりません。未使用切手・未使用はがき・書き損じはがきを事務局までお願いいたします。